

ダントツ行く! 4



「ネイチャー」インタクト

イラスト 谷口ロロ

ナオキ このブース面白そうだな。海のところにトロピカルゾーンにはウミガメやイルカ、陸のところにサバンナゾーンにはゾウやゴリラ、氷のところにアイスゾーンにはシロクマやクジラがいるよ。

ダントツ あら!? 手をかざすと動物が反応するわよ。

ナオキ あれ、足元から何かドンドン響いてくるよ。何の音だろう?

ダントツ 動物の心臓の音ですって。手を近づけたんだけど、面白いわね。マユもやってみたら? こうやって動物さんを手でかこんでみて。

音 パオーン!

マユ ソウさんが鳴いたよ、ママ!

通称ダントツさん。首都圏郊外の一戸建てに住む34歳の主婦。夫と子供2人(息子9歳と娘4歳)、おじいちゃん、イチロー(大型犬)の5人+1匹家族。趣味のテニスやPTAに忙し、料理も家事も手抜きをしないチャッカリ主婦。



ナオキ こんどはメッセージが出てきたよ! イルカさんはイウシが好きなんだって。

バ ほらナオキ、こちらの受付端末で探査ロボットを登録できるみたいだよ。

ナオキ 探査ロボットって何? 画面の中で行きたいところを選んで次に好きなロボットを選んで……。これで、テーブルのところに戻らんだね。

バ ほら、画面にさっきナオキが登録したロボットが出てきたよ。

ナオキ ホントだ! てのひらを動かすとロボットも一緒に動くよ。ロボットが君のことを教えてほしいな! って動物にたずねてるね。

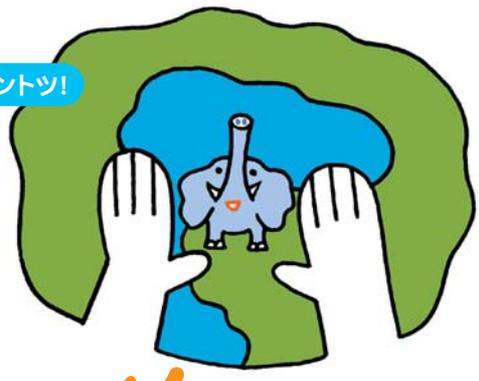
バ ライオンが、俺たちはネコの仲間なのさ! 知ってた? とっても大きくて強いけどね! って言うてるよ。へえ。

ダントツ ほかの動物さんたちにも聞いてみたら?

バ それにしても、面白いわねえ。どういしくみになっているのかしら?

バ このテーブルには、日立が開発したユークインタフェースが採用されているんだよ。ほらテーブルの下が透けて見えているよ。中に画像を投影するプロジェクターと手の影を認識する赤外線カメラが内蔵されているんだ。ディスプレイ面に投影された手の影をカメラで認識させることで、操作ができるしくみなんだ。

動物の心拍や鳴き声が体感できる 科学技術館 日立ブース 「Nature Contact」



動物と触れ合うことができる

ココがダントツ!



探査ロボットを使って会話できる

ココがダントツ!

ダントツ なるほど、それでみんなの手の動きに合わせて画像が動いたり、文字が出たりするのね。面白いワ。

ナオキ あれ、ロボットが画面から消えていなくなっちゃったと思ったら、壁の画面に飛んできたよ。あつ、僕が出会った動物たちが映ってる!

マユ マママユもいろんな動物さんたちとなかよしになっちゃよ!

ダントツ よかったわね。また、遊びにきましょね!

科学技術館(東京都千代田区)の日立ブースを2006年4月に「Nature Contact」としてリニューアル。愛・地球博の日立グループ館コンセプトを踏襲するもので、動物たちの生態や鳴き声、心拍などを体感できるインタラクティブな体験ブース。細長いガラステーブル上の情報ディスプレイに、トロピカルゾーン、サバンナゾーン、アイスゾーンの三つのゾーンが表示されていて、そこに登場するさまざまな動物と触れ合うことができる。また、自宅のパソコンで育成した動物を日立ブースに連れてくることのできるサービスを、7月末から開始予定。



テーブル画像の例

ブース全景



出会った動物を映像で確認

ココがダントツ!